

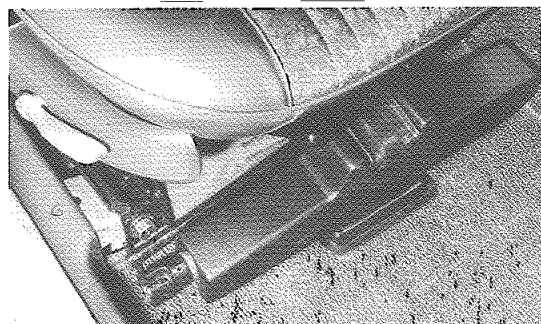
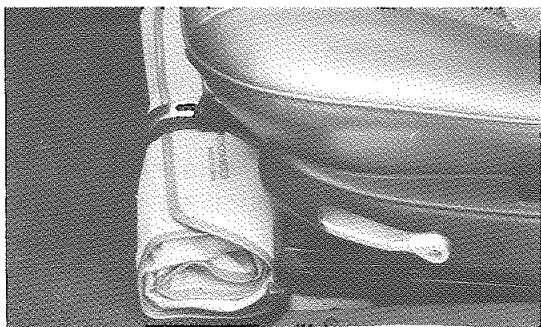


車の簡単な手入れと処置

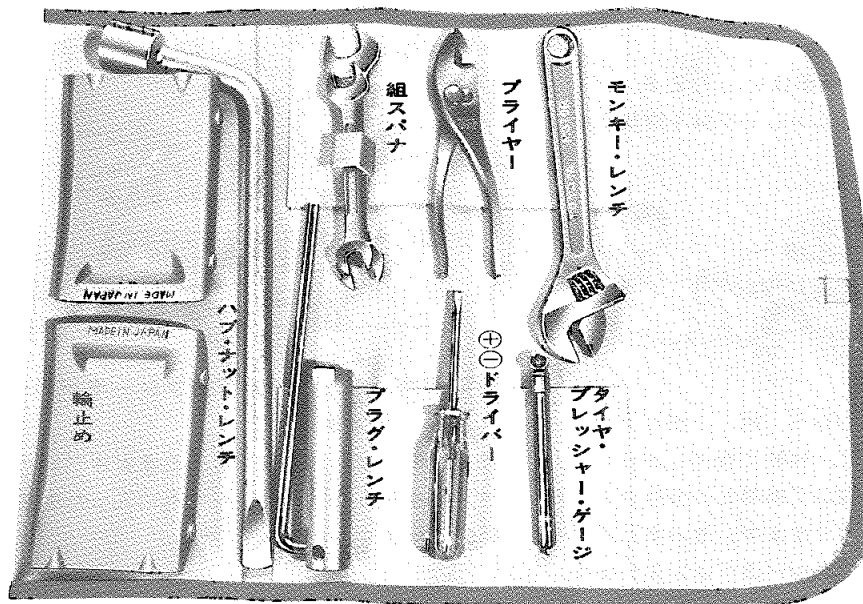


工具とジャッキ

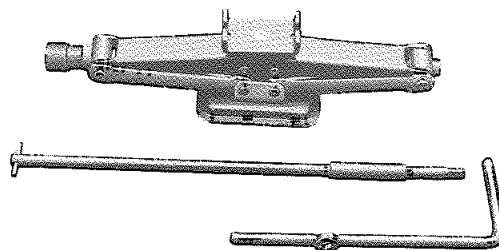
■ジャッキ格納位置



工具



ジャッキ



吸気コントロール・バルブ

オプション

エア・クリーナー・ケースの吸気口にはバルブが設けてあり、バルブを操作することにより、吸入する空気の温度が調節できます。バルブの操作は、ラベルの指示の方向に操作してください。

冷却水の交換

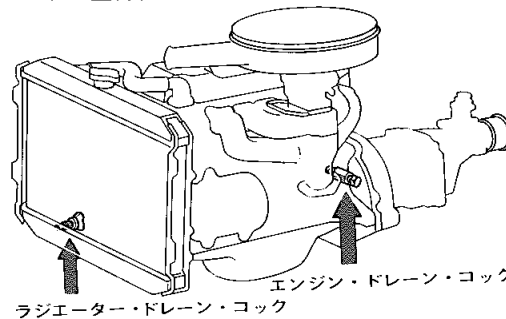
マークIIには、必ずロングライフ・クーラントをご使用ください。

キャッスル・ロングライフ・クーラントは、冷却水と不凍液とを兼ねています。四季を通じて使用でき、通常は2年または40,000kmで交換してください。

交換する場合は次の要領で実施してください。

冷却水の交換

1. 図に示すエンジン・ドレーン・コック、ラジエーター・ドレーン・コックをはずし、冷却水を全部出します。



2. 水道の水でラジエーター内を洗浄しエンジン・ドレーン・コックとラジエーター・ドレーン・コックを取り付けます。
3. ロングライフ・クーラントの注入量は、下記の表を参照してください。

凍結防止温度		-15℃まで	-38℃まで
ロングライフ・クーラントの濃度		30%	50%
参考	冷却水量	8ℓ	

冷却水の補給

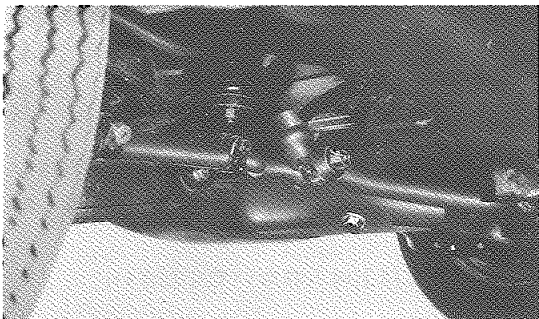
冷却水を補給する場合は左記の表の割合でロングライフ・クーラントを補給してください。

★注意

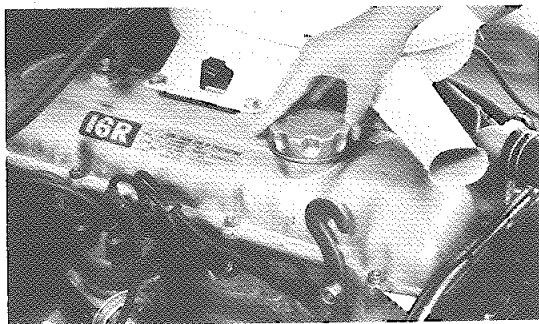
1. 新車および冷却水交換後、エンジン内に空気が残りしばらくは冷却水の減少が見られますが異常ではありません。
2. 補給はリザーブ・タンクに行なってください。LOWとFULLのレベルの間に保ってください。FULL以上は入れないでください。

エンジン・オイルの交換

1. エンジンのドレーン・プラグとオイル・フィラ・キャップをはずしてオイルを出します。



2. エンジン・ドレーン・プラグを取り付け、オイルを注入します。



オイルはトヨタ純正キャッスル・モーター・オイルをご使用ください。

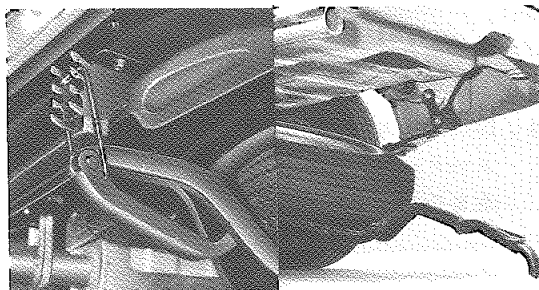
パンクの処置

■パンクの処置

車を道路の左はしによせて

- 1=工具、ジャッキ、スペア・タイヤをとり出します。

- 2=スペア・タイヤの取り出し方

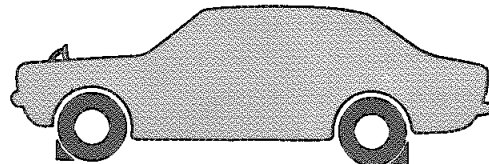


ハンドルを起こしてフックからレバーをはずします。

スペア・タイヤ・キャリアをそっとおろし、スペア・タイヤを取り出します。

盗難防止のため、錠前などで施錠することもできます。

4. 輪止めをします。

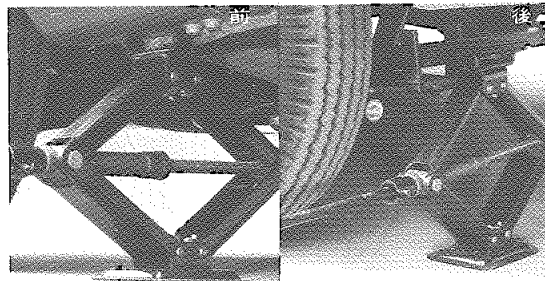


左側パンク時………右側前後のタイヤ
右側パンク時………左側前後のタイヤ

5. ジャッキがはずれたときの危険防止のため、スペア・タイヤをパンクしたタイヤのボデーの下に置きます。

6. ホイール・キャップをドライバーではずします。直接ホイール・キャップに指をかけて引くことはやめてください。

7. ジャッキをセットします。

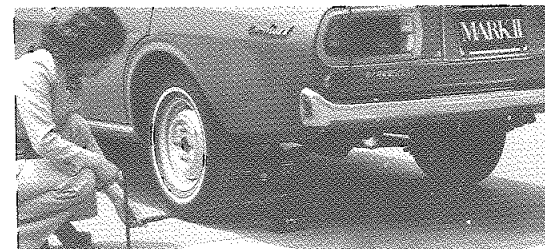


交換する車輪に近いサイド・メンバーにジャッキをセットします。

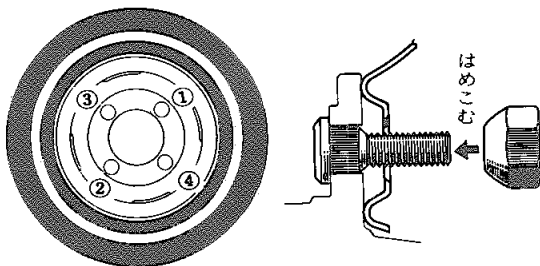
サイド・メンバーの前端、後端にジャッキの受けがあります。

8. タイヤが、がたつかない程度にハブ・ナットをハブ・ナット・レンチでゆるめます。

9. タイヤと道面とが少しあくまでジャッキ・アップします。



10. ナットをはずします。



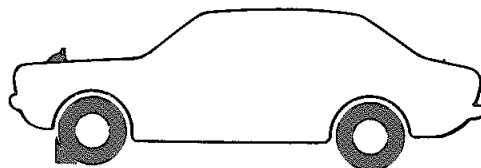
11. タイヤをとりかえます。
12. タイヤがガタつかない程度にナットを締めます。このときナットの方向をまちがえないように確かめましょう。
13. ジャッキをはずします。
14. ナットを確実に締めつけます。
15. タイヤの空気圧を正規にします。
16. タイヤの空気口にキャップの穴を合わせホイール・キャップをとりつけます。
17. 工具をもとにもどし、パンクしたタイヤは、すぐ修理しておきましょう。

タイヤ チェーン

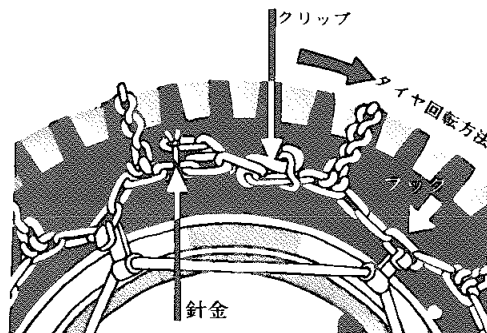
タイヤ・チェーンは後2輪に取り付けます。

〈取り付け方〉

1. 前輪に輪止めをし後輪をジャッキ・アップします。



2. クロス・チェーンの折り曲げを外にしてタイヤを回しながらチェーンをかぶせます。
3. チェーンを両端をいっぱい引いて連結します。余ったチェーンは、ボデーに当るのを防止するために図のように針金で結びます。



4. チェーン・バンドはフックの爪を外向きにし、チェーンをひっぱります。

5. ジャッキをはずします。

〈取りはずし方〉

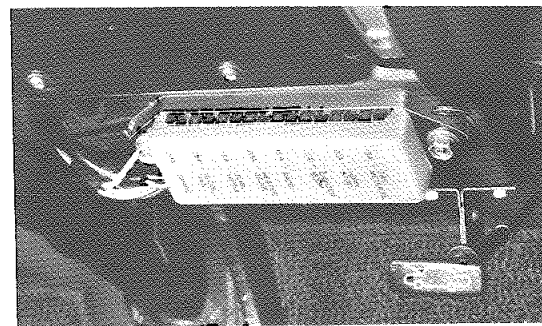
1. チェーン・バンドをはずし針金をとり、クリップは内側から先にはずします。
2. 車を少し動かしチェーンを取り出します。

★注意

タイヤ・チェーンを装着して悪路を走行する場合は速度を50km/h以下で走行してください。

ヒューズ、ランプ類の 交換

〈故障の調べ方〉



運転席右足もとのヒューズ・ボックスのふたにヒューズ容量と主回路名が記入してあります。

そのヒューズの受けもっている配線全部が作動しないときはヒューズきれと考えられます。

1つだけ作動しないときは、ランプ切れかまたは配線に不具合があります。

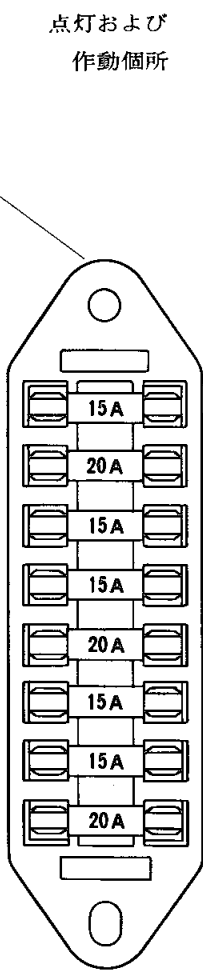
〈ヒューズの交換〉

1. ヒューズ・ボックスのふたを取ります。
2. ヒューズをはずします。
3. 切れたものと同容量のヒューズを交換します。

何度もヒューズが切れる場合は、針金、銀紙等を使用しないで、サービス工場で点検を受けてください。

■断線したヒューズを発見するための一覧表

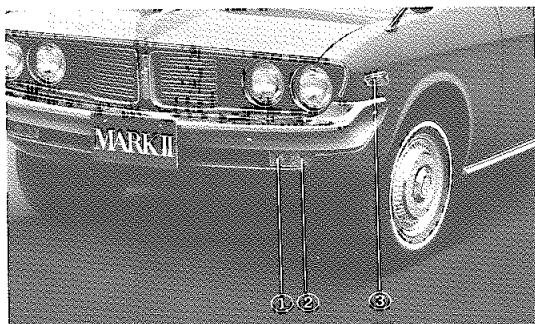
ヒューズ	テールランプ		フロントの車中灯		ナンバープレートランプ <small>メーター内照明ランプ</small>	コンビネーション ランプ	ホーン	ストップランプ	駐車灯	シガレットライター	時計	ルームランプ	ラジオ	ヒータブローモーター	コンビネーションメーター内ゲージ	バックアップランプ	ワイパーモーター	ウインドウウォッシャー	ターンシグナルランプ	ハザードウォーニングランプ	ボルテージレギュレータ(IG端子)	イグニッションコイル(一次電流)
	左右	左右	左右	左右																		
TAIL, METER, PL	○	○	○	○																		
HORN, STOP							○	○	○													
LIGHTER, ROOM										○	○	○										
RADIO													○									
HEATER, GAUGE														○	○	○						
TURN, WIPER																	○	○	○	○		
IG, COIL, GEN																					○	○
SPARE																						



- ※ 1. 不具合のある個所は点灯または作動しません。
- 2. スペア・ヒューズはケース・カバーに (スペア・ヒューズ-15A, 20A が各 1本) があります。

■ランプ交換

フロント



- ①スモール・ランプ &
フロント・パーキング・ランプ(7/3.4W)
- ②フロント・ターン・シグナル・ランプ &
ハザード・ウォーニング・ランプ(23W)
- ③サイド・ターン・シグナル・ランプ(8W)

バルブ交換は、レンズ表面のネジをはずしてレンズをとり、バルブをいっぱい押しこんで左に回してはずします。

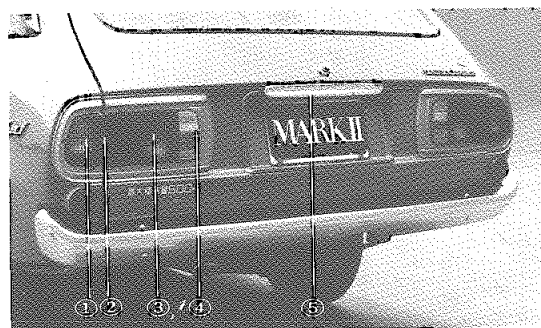
バルブをはめるときは、バルブをいっぱい押し込んで右に回してください。

ダブル・フィラメント・バルブはポッチの位置が左右ちがいますのでご注意ください。

★注意

ソケットおよび接着部の錆、汚れをとってください。

リヤ



- ①テール&パーキング・ランプ(8/3.4W)
- ②ターン・シグナル・ランプ(23W)
- ③ストップ&テール・ランプ(23/8W)
- ④バック・ランプ(23W)

レンズ表面のネジをはずしてランプ・ソケットを左にまわしてはずします。

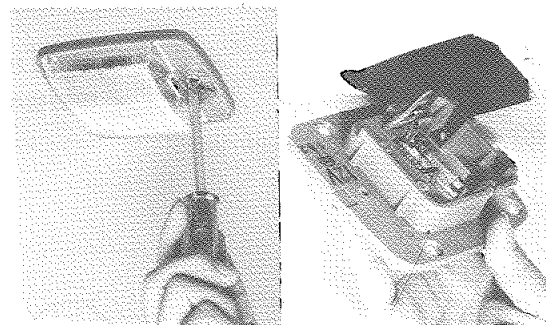
はめるときは、切り欠きをあわせて右へまわします。

パーキング・ランプは引っぱるとはずれます。

- ⑤ナンバー・プレート・ランプ(7.5W)

カバーのネジ2箇所をはずしてレンズを取り、バルブをいっぱい押し込んで左にまわしてはずします。

ルーム・ランプ



ルーム・ランプ(10W)

バルブの交換は、スイッチをOFFにして、ネジをはずし、ランプを引っぱり出してウラ側からバルブを取りはずします。

デッキ・ルーム・ランプ(10W)

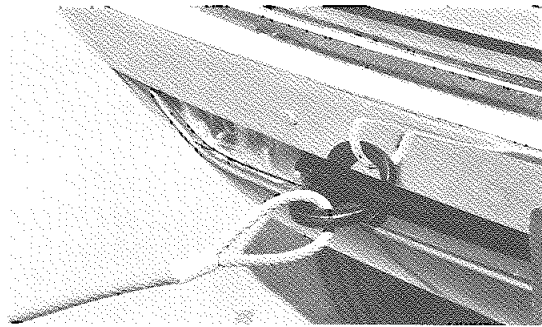
手でランプ・カバーをはずし電球を交換します。

けん引について

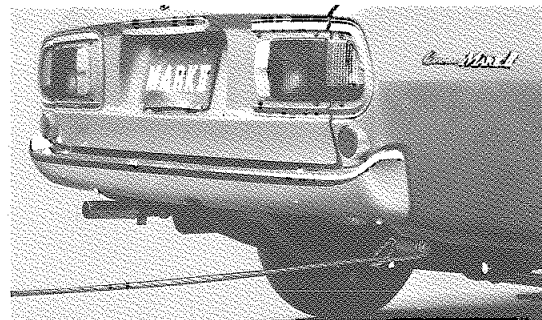
〈けん引ロープをかける位置〉

フロント

けん引フック（オプション）を取り付けてください。

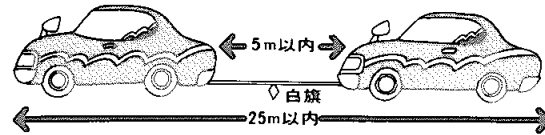


リヤ



右側のフックを使用してください。左側のフックは新車時車両輸送用のものです。使用しないでください。

〈けん引のしかた〉



けん引車は、急発進・急停車をしないようにし、けん引される車は常にロープがたるまないように気をつけましょう。

塗装の手入れ

車を美しく保つには、日頃のお肌（塗装）の手入れが必要です。

ボデーのほこりは柔らかい布か毛ばたきでとりましょう。

塗装面が汚れたときは、なるべく早く洗車をし、汚れのひどいときは洗剤を使用しましょう。

また塩分が付着したときは早く洗車しましょう。ワックスがけは適時、ボデーにつやのなくなる前に行なってください。

〈洗車方法〉

1. 下まわりを洗いましょう。
2. スポンジかセーム皮で水量をたっぷりにして洗いましょう。
3. 汚れのひどいときは、必ずカーシャンプーを使用してボデー温度が体温以下になってから洗いましょう。
4. 塗面に、はん点が残らないよう十分水分をふきとりましょう。

〈ワックスがけ〉

1. 1カ月に1度または水のはじきが悪くなったときに行なってください。
2. ワックスがけはボデーが体温以下になってから行なってください。
高温では塗装面が柔らかくなっていますからしみになる恐れがあります。
3. 使用方法はワックスに記されていますからよく読んでお使いください。

4. ワックスは、トヨタ純正品で下記の名称のものをお使いください。

オートワックス・デラックス

オートワックス・カスタム

オートワックス・スペシャル

スピーディ・オートワックス・クリーン

スピーディ・シュット

★注意

ワックスの中にコンパウンド(細かい砂)の入っていないものをご使用ください。

(コンパウンドの入っているワックスを使用すると表面に細かい傷が残ります。)